

事業所における自己評価結果(公表)

公表:2020年 3月 2日

事業所名 若葉ゆめの園多機能型事業所

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		屋内だけでなく、敷地内の散歩コースや屋上、球戯場を有効活用して屋外活動も積極的に取り入れている。	
	②	職員の配置数は適切であるか	○		児童指導員等加配加算	
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮がなされているか	○			
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		○		常勤職員だけでなく非常勤職員も含め共通目標を持った業務遂行を目指していく。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等により、アンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公表しているか	○		法人HPIにて公表	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		
適切な支援の提供	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		内部、外部研修への参加を積極的に行なっている。	
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		相談支援専門員や学校の計画と連動して作成している。	
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		聴き取りだけでなく、行動状況の把握のためのアセスメントツールを検討していく。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		毎月、イベント会議を行なっている。	
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		毎月のイベント会議において、新しい活動が提供できるよう工夫している。	
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○		提供時間によって、日課プログラムの設定を変えている。	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			
	⑰	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
	⑲	ガイドライン総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか	○			
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		学校とのやり取り以外でも、保護者から変更の都度、情報をいただく形を取っている。	

関係機関や保護者との連携	⑳	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			受け入れなし。	
	㉑	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			新一年生については、相談支援事業所を通じて環境確認や必要に応じた情報共有を図っていく。
	㉒	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		生活介護事業と連携を図っている。	
	㉓	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		必要に応じて対応していく。
	㉔	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		必要に応じて対応していく。
	㉕	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○		
	㉖	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			
保護者への説明責任等	㉗	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		家族支援も含めた面談や情報共有を図っていくことを目指していく。
	㉘	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	㉙	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		電話では相談しにくい方には、メールでも対応している。	
	㉚	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		仕事をされているご家族が多いため、休日での行事開催を通して家族交流の場が図れるよう工夫していく。
	㉛	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	㉜	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			
	㉝	個人情報に十分注意しているか	○			
	㉞	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	㉟	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			
	非常時等の対応	㊱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知しているか		○	
㊲		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			
㊳		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		年3回、虐待防止のための研修とチェックリストを行ない、各自との振り返りと今後の対応を管理者と実施している。	
㊴		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			
㊵		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			
㊶		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		事例検討や会議でのフィードバックを実施している。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表: 2020年 3月 2日 事業所名 若葉ゆめの園多機能型事業所 保護者等数(児童数)32 回収数 22 割合 73 %

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	20	1	1	お部屋が狭い。	室内の広さには限りがあるため、屋外での活動を取り入れながら、リフレッシュできる活動提供をしていきます。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	15	4	1	職員が出払っている時間がある。男性職員を増やして欲しい。	送迎で職員不在の時間が出来てしまっていますが、在園時間帯で十分な対応ができるよう配慮していきます。男性職員については募集しております。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	20	0	0		
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	16	4	0		
	⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	18	1	1		
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	4	14	必要ないと思う。	現在はあまり積極的な交流機会を設けてはおりませんが、必要に応じて検討してまいります。
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がされたか	19	1	0		
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	16	2	2		
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	16	9	3	必要な時は電話での対応を下さっている。一年前に面談の話があったが、言われたきりだった。	保護者とのコミュニケーションも意識した支援を提供してまいります。
保護者への説明等	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	9	10		
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応されているか	14	6	0		
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	15	4	1	冬季の帰りの際には一言報告と連絡帳のみ。夏季は連絡帳のみだった。	連絡帳以外でもご本人も含めたコミュニケーション作りに配慮してまいります。
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	16	4	0		
	⑭	個人情報に十分注意しているか	18	2	0		
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか	9	9	2		
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	12	8	0		
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	18	2	0		
	⑱	事業所の支援に満足しているか	17	2	1	職員人数の関係か、少し目が行き届かないと感じることがある。男性スタッフを増やして欲しい。	個々の特性に充分配慮した支援提供ができるよう、ケース会議や担当者会議を積極的に行ない、満足度の高いサービス提供を目指していきます。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け放課後等デイサービス評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

部署名：若葉ゆめの園多機能型事業所（放課後等デイサービス）

管理者：萩原章江

児童発達支援管理責任者：北嶋翼

児童指導員：石井南、中村千恵子、川口あかね、鈴野友紀

指導員：朝山亜光

保育士：倉田有里

課題及び改善点	改善内容及び工夫
<p>① お部屋が狭い</p> <p>⑨ 面談があまりない</p> <p>⑱ 少し目が行き届かないと感じることがある。</p>	<p>① 室内の広さは出来る限り、十分なスペースを確保できるよう配慮しているが、動きの多いお子さんにとってはリフレッシュも必要。屋外の活動を取り入れメリハリを入れた支援提供をしていく。</p> <p>⑨ 支援計画時以外での特記以外での面談が少ない為、ご家族とのコミュニケーションや相互理解のためにできる限りの面談設定を提案していく。</p> <p>⑱ 当日参加利用者様同士の相性や障害特性に配慮した活動展開の見直しや職員把握などの体制を強化し、安全で安心なサービス提供を実施していく。</p> <p>《全体》 家族とのコミュニケーション不足からの不安感や情報共有の薄さを感じられる為、普段の些細な送迎時の関わりから直接場を設けての面談まで、幅広いコミュニケーション場面を活用して、より良いサービス提供を目指していく。</p>